

2021年7月16日

株式会社南紀白浜エアポート
東邦レオ株式会社

南紀白浜空港サクスホッププロジェクト

～紀南に住む人・紀南外から訪れる人がビールを片手に関係を築きあげる、賑わい創出コミュニティ～

「空港型地方創生」をコンセプトに掲げ、紀南地域の活性化を手掛ける株式会社南紀白浜エアポートと、グリーンインフラ技術による都市基盤整備や賑わい・コミュニティ創出など新たなまちづくりを行う東邦レオ株式会社は、南紀白浜空港をハブにしたホップコミュニティ活動を始動し、紀南地域の関係人口増加および、地域活性化をめざします。



観光産業が経済活動の重要な柱のひとつである紀南地域は、新型コロナウイルスの感染拡大により減少した観光客を呼び戻すためにも、持続可能かつ安心・安全な観光地づくりを地域課題として挙げています。

地域への玄関口となる南紀白浜空港は、現在、国際便の就航を目指した新たなターミナルビルや商業スペースの増築等のリニューアルオープンを控えており、今後一層の発展を目指しています。新たなステージへの移行に伴い、空港の利用者への“おもてなし”のみならず、地元の人々が気軽に立ち寄れる“地域の拠点”として、また利用者で地元の人々が“繋がる縁側”の機能を強化していきます。

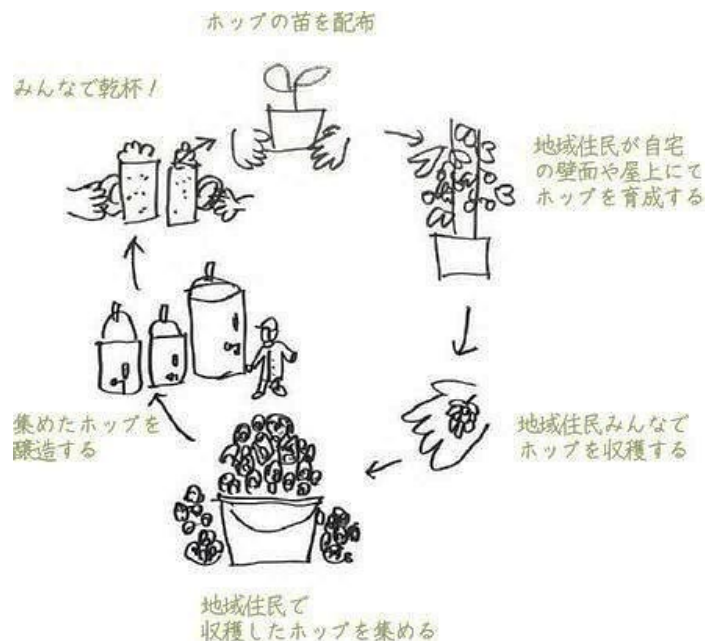


両社は2021年3月より、南紀白浜空港のエントランスにて、住民交流・地域活性の契機を生み出すべく、ホップ栽培に取り組んでまいりました。今回のスタートアップには、地域に愛され活躍するナギサビール株式会社、株式会社ラカン、株式会社リビング建築工房の協力により実現しています。

今夏より、栽培した南紀白浜空港産のフレッシュホップを使用してナギサビール株式会社にてクラフトビールの製造を予定しております。オリジナルビールをコミュニティツールとし、空港に集まる多種多様な人々がビールを片手に交流できる新たな“場”をうみだします。

また、次年度からは南紀白浜空港以外にもこの取り組みに賛同して頂ける方々にホップの株をお分けして地域の様々な場所でホップを育て、皆で収穫して醸造したビールで乾杯する取り組みを広げていきます。

2022年3月のお披露目に向けて、ビールのネーミング、ラベルのデザイン等を地域の方々と一緒に考えるワークショップの開催を予定しています。その後、紀南地域で活躍する地域の方々とのトークセッションイベント、地元の企業・生産者・行政機関など、様々なステークホルダーを巻き込んだ関係づくりイベントを定期的に開催予定です。



“ホップコミュニティを軸に、地元の人々は地域への愛着を増幅させ、その姿に魅力を感じた地域外の人々が南紀白浜地域に訪れる。” 共感の連鎖から、紀南ひいては和歌山県全体の価値を高める取り組みとして、南紀白浜空港サンクスホッププロジェクトを打ち出して参ります。

補足) 協働企業である東邦レオ株式会社は、グリーンインフラ技術による都市基盤整備や賑わいの創出など新たなまちづくりのコンテンツの一つとしてサンクスホッププロジェクトを展開しています。

2019年に大阪、主要都市の梅田近辺、北区中津にてブルワリー(醸造所)をOPENし、ホップ栽培から収穫、そして醸造まですべてのプロセスを地域の人々と共に行う、市民参加型のコミュニティプラットフォームを作り出しています。

[THANKS HOP | \[THANKS HOP/サンクスホップ\] 誰かのおかげで、誰かのためにホップから始まるシェアリング・シビックエコノミーWeb マガジン \(thanks-hop.com\)](https://thanks-hop.com)

【報道関係のお問い合わせ先】

株式会社南紀白浜エアポート 広報・マーケティング

TEL : 0739-43-0095 E-mail :travel@nsap.co.jp

東邦レオ株式会社 グリーンライフスケープ事業 担当：喜多

TEL : 06-6762-2100 E-mail : s_kita@toho-leo.co.jp